

JSRT・JART合同企画

シンポジウム

10月3日（土）16:00～17:00 第4会場

リニアック標準計測法24～基礎と導入～

座長 東北大学病院 佐藤 裕 幸

岩手県立中央病院 佐々木 大 盛

1. リニアック標準計測法24の基礎

岩手県立胆沢病院 朝岡 亮 哉

2. リニアック校正導入後の当院の運用

福島県立医科大学附属病院 星 佑 樹

2024年3月、日本医学物理学会より「リニアック標準計測法24」が発刊された。従来のCo-60ガンマ線源を用いた校正から、医療用リニアック装置による校正へ移行することで、線量計測における不確かさの低減が期待されている。

本企画では、標準計測法12との違いを踏まえた基礎的事項から、臨床導入時の準備や課題、導入後の運用までを体系的に解説する。また、導入施設間での課題共有と対応策の議論を通じて、今後の標準化と品質管理向上に資することを目的とする。本企画がリニアック標準計測法24の導入を検討している施設、ならびに既に導入している施設にとって、課題共有や対応策検討の一助となる有意義な企画となることを期待している。